

受 付 番 号	202504		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111411 号		
研究課題名	看護大学生の互惠的学修環境とアウトプットの場の提供による学修効果の検証―パイロットスタディー		
研究責任者	大山 末美	申 請 者	大山 末美
研究終了日	2026 年 12 月 31 日		
所 属	看護学部 成人看護学領域	所 属	看護学部 成人看護学領域
職 名	教授	職 名	教授

申請の概要

本研究は、協働学修の一つであるジグソー法（以下、ジグソー）による互惠的学修活動において習得した知識・技術をアウトプットすることで得られる学修効果を検証することを目的としたパイロットスタディである。

文部科学省は高等教育の充実において、大学改革の基本的方向性の一つに「人材育成においては、新たな知識・技能を習得するだけでなく、学んだ知識・技能を実践・応用する力、さらには自ら問題の発見・解決に取り組む力を育成すること、このことを通じて、自主的・自律的に考え、多様な他者と協働しながらより豊かな社会を形成することのできる人を育てる」ことを示している。このような人材を育成するために、まずは学びの原動力である学修意欲を高め、他者と協働しながら何かを形成した経験とその経験で得たことをアウトプットする活動の場が必要である。

そこで本研究は、本学看護学部学生（以下、学生）に対して、18歳以上の成人期における口腔の問題として着目されている歯周病予防セルフケアを教材にして学修意欲を導くARCSモデルを活用し、ジグソーで習得した学びをアウトプットすることで得られた学修効果を、カークパトリックの4段階評価モデルとフォーカスグループインタビューにより評価し、検証する。

本研究結果から導き出された結果に基づき、将来的な構想として、看護師が行う口腔ケアについて学生が学年を超えて互惠的な学びを継承し、歯周病を含む看護師が行う口腔ケアを持続的に地域住民とともに創造する場を作るシステムを構築することが期待できる。